

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 1 5 号	
件 名	市立万代高校のグラウンド拡大整備について	
要 旨	開校して 20 年以上が経過しました。当時、行政と何回も協議した。グラウンドについては勉強不足、あまり注視しませんでした。現状を考えると、生徒さんに申し訳ない気持ちでいっぱいです。グラウンドは、野球部はフルスイングできない。サッカー部は思い切り蹴れない。陸上部は走る以外の競技の場がない。伝統あるソフトボール部は、キャッチボールさえ満足にできるスペースがない。各部、常に前後左右をびくびく確認しながらの毎日の練習風景。 市立の星という部活動を期待し、また安心して活動する場所を提供してほしい。以前、前市長にもお願いしましたが、グラウンド脇の J R 貨物跡地にサッカー部、陸上部、ソフトボール部のスペースを増設、拡大してほしい。思い切り勝ちたい、打ちたい、蹴りたい、走りたい、キャッチボールしたい、できるのが当たり前の高校にしてほしい。 行政の高校計画時の立案ミス、私たちも勉強・知識不足を認めます。自宅前で見ていると、あまりにもかわいそうです。必要な措置を求めて、委員会の意志として陳情内容を検討し、手段を選択してほしい。 よって、J R 貨物跡地に部活動施設の環境整備をすることを求めて陳情いたします。	
付 託 年月日 委員会	令和 7 年 9 月 5 日	文教経済常任委員会
受 理	令和 7 年 8 月 18 日	第 272 号